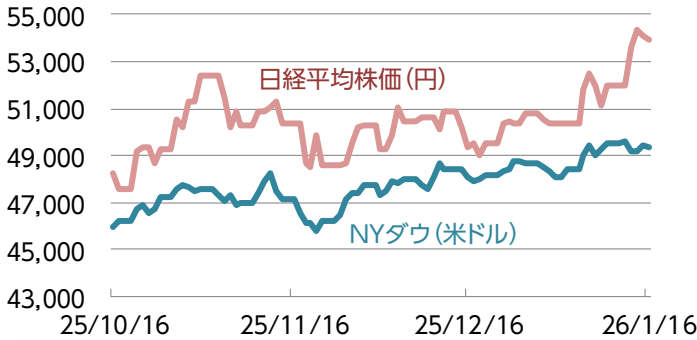


## ■先週の市場の動き

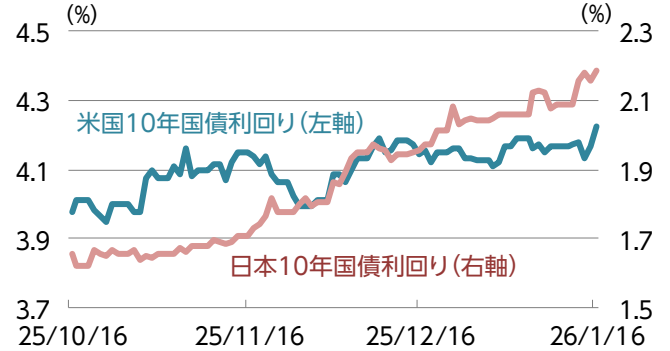
米国株式市場は下落。主要3指数ともに週初に一時過去最高値を更新した一方、地政学リスクへの警戒感が増したことや、株価が高値圏にあったことから利益確定の売りが強まった。TSMC(台湾セミコンダクター)が設備投資計画を引き上げたことなどから一部半導体銘柄には買いが続いたものの、金融緩和に積極的とされるハセツ氏が次期FRB(米連邦準備理事会)議長になる可能性が低下し、長期金利が上昇したことが重荷に。

### ■株式市場



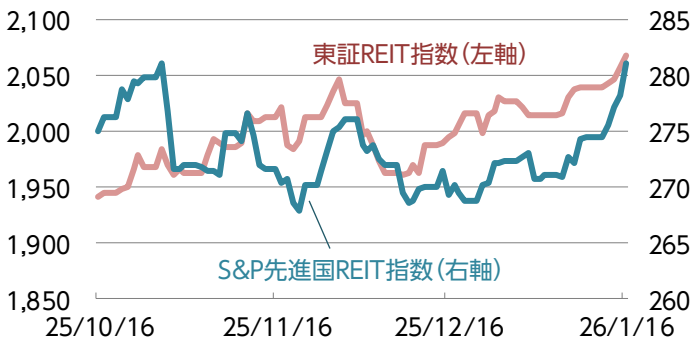
国内株式は上昇。日経平均株価、TOPIXともに過去最高値を更新。衆議院の解散観測で、高市政権の政策が進むとの期待から海外投資家などによる買いが優勢。AI(人工知能)・半導体や防衛関連銘柄のほか、幅広い銘柄が買われた。

### ■債券市場



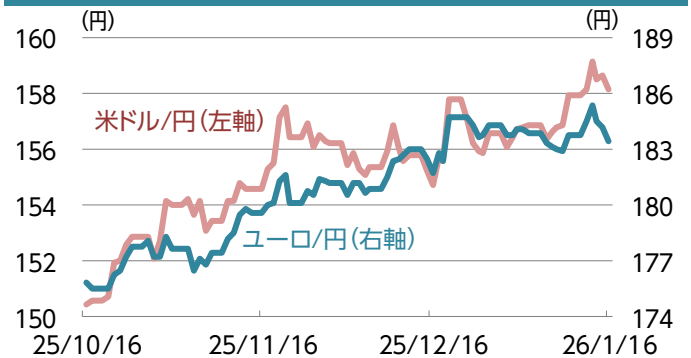
米10年国債利回りは上昇。地政学リスクへの懸念が根強いものの、次期FRB議長の人事を巡り利下げペースの遅れが意識された。日本の10年国債利回りは上昇。日銀による利上げ時期が早まるとの見方が強まった。

### ■REIT市場



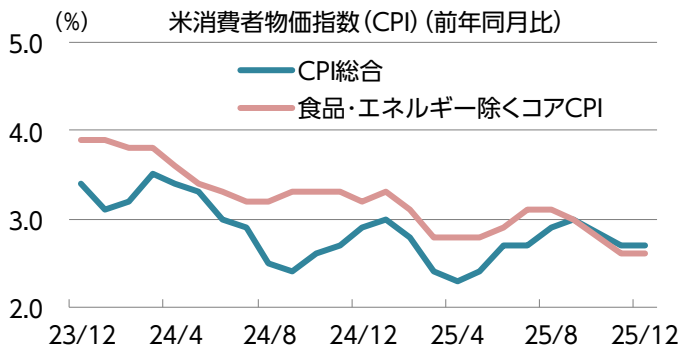
国内は上昇。長期金利の上昇が警戒される一方、国内株が最高値を更新するなか、リスク資産であるREITも買いが先行。約4年ぶりとなる高値を付けた。海外は上昇。

### ■為替市場(米ドル/円、ユーロ/円)



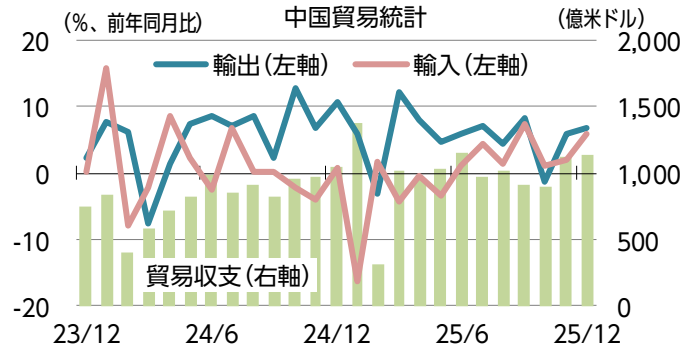
米ドル/円は上昇。高市首相が衆議院を解散するとの報道を受けて、一時約1年半ぶりの円安水準をつけた。一方、財務相による円安けん制発言などから、円買い介入が引き続き警戒された。ユーロ/円は下落。

### ■経済指標グラフ



前年同月比+2.7%。市場予想と一致。食品・エネルギーを除くコア指数は同+2.6%、11月から横ばいで市場予想(+2.7%)を下回る。食品、エネルギーを除くモノは同+1.4%。エネルギー関連を除くサービスは同+3.0%。

### ■経済指標グラフ



貿易収支は1,141億米ドルの黒字。輸出は前年同月比+6.6%。11月(+5.9%)から伸びは拡大。輸入は同+5.7%。11月(+1.9%)から拡大。2025年(通年)の黒字は1兆1,890億米ドルで過去最高額。輸出が堅調。

(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

		先週末	騰落率			
		1/16	1週間	1カ月	3カ月	
株 式	日経平均株価	53,936.17	3.84%	9.22%	11.72%	
	TOPIX	3,658.68	4.11%	8.55%	14.21%	
	JPX日経インデックス400	32,942.37	3.98%	8.26%	14.05%	
	米国 NYダウ	49,359.33	▲0.29%	2.59%	7.41%	
	米国 S&P500指数(米ドルベース)	6,940.01	▲0.38%	2.06%	4.69%	
	フィラデルフィア半導体株指数	7,927.41	3.78%	13.93%	16.58%	
	米国 ナスダック総合指数	23,515.39	▲0.66%	1.75%	4.22%	
	英国 FTSE100	10,235.29	1.09%	5.68%	8.47%	
	ドイツ DAX	25,297.13	0.14%	5.07%	4.22%	
	欧州 STOXX600	614.38	0.77%	5.96%	7.47%	
	香港 ハンセン指数	26,844.96	2.34%	6.38%	3.69%	
	中国 上海総合	4,101.91	▲0.45%	7.24%	4.74%	
	インド S&P BSEセンセックス指数	83,570.35	▲0.01%	▲1.31%	0.12%	
	ブラジル ボブスバ	164,799.98	0.88%	3.92%	15.89%	
	日本10年国債利回り	2.185%	0.095	0.230	0.530	
債 券	米国10年国債利回り	4.223%	0.058	0.078	0.248	
	ドイツ10年国債利回り	2.835%	▲0.028	▲0.010	0.265	
	東証REIT指数(配当なし)	2,067.93	1.44%	3.66%	6.58%	
そ の 他	S&P先進国REIT指数	281.02	2.42%	4.34%	2.23%	
	NY金先物	4,595.40	2.10%	6.07%	6.76%	
	原油先物	59.44	0.54%	7.54%	3.45%	

		先週末	変化率			
		1/16	1週間	1カ月	3カ月	
為 替 レ ー ト (対 円)	米ドル	158.12	0.15%	2.20%	5.11%	
	ユーロ	183.42	▲0.18%	0.92%	4.33%	
	英ポンド	211.57	▲0.02%	1.87%	4.69%	
	豪ドル	105.66	0.05%	2.96%	8.31%	
	カナダ・ドル	113.66	0.14%	1.03%	6.18%	
	ノルウェー・クローネ	15.66	0.16%	3.13%	4.85%	
	ブラジル・リアル	29.44	0.12%	4.41%	6.56%	
	香港ドル	20.27	0.07%	1.95%	4.73%	
	シンガポール・ドル	122.65	▲0.01%	2.21%	5.49%	
	中国・人民元	22.69	0.27%	3.27%	7.55%	
	インド・ルピー	1.74	▲0.82%	2.37%	1.19%	
	インドネシア・ルピア	0.94	▲0.27%	0.99%	3.19%	
	トルコ・リラ	3.65	▲0.22%	0.89%	1.89%	
	南アフリカ・ランド	9.63	0.63%	4.35%	11.03%	
	メキシコ・ペソ	8.97	2.13%	4.20%	9.93%	

※先週末休場の市場は直近値  
 ※国債の騰落率は利回りの変化幅  
 ※S&P先進国REIT指数は除く日本、米ドルベース、配当なし  
 ※NY金先物は1トロイオンス当たりの米ドル建価格  
 ※原油先物は1バレル当たりの米ドル建価格(WTI先物価格)  
 ※インドネシア・ルピアは100通貨単位での表示

## ■主要経済指標

### <国内>

景気ウォッチャー調査(12月)	現状判断指数は前月から▲0.1ポイントの48.6。2カ月連続の低下。先行きは+0.2の50.5
企業物価指数(12月)	前年同月比+2.4%。農林水産物、非鉄金属は高い伸び。石油・石炭製品などが低下

### <米国>

消費者物価指数(12月)	前年同月比+2.7%、11月から横ばい。市場予想と一致。コア指数は同+2.6%
新築住宅販売件数(10月)	10月は前月比▲0.1%の年率換算73.7万戸。市場予想(71.5万戸)を上回る
小売売上高(11月)	前月比+0.6%。市場予想(+0.5%)を上回る。10月は横ばいから▲0.1%に下方修正
中古住宅販売件数(12月)	前月比+5.1%の年率換算435万戸。住宅価格中央値は同▲1.1%

### <欧州>

ユーロ圏鉱工業生産指数(11月)	前月比+0.7%。市場予想(+0.5%)を上回る。伸びは前月から横ばい
------------------	-------------------------------------

### <中国>

貿易統計(12月、米ドル建て)	貿易収支は1,141億ドルの黒字。通年の黒字は1兆1,890億ドルで過去最高額。輸出が堅調
-----------------	---

## ■今後の焦点

日付	イベント
1/19	日本 コア機械受注(船舶・電力を除く民需)(11月)
1/19	中国 実質GDP(国内総生産)成長率(10-12月期)
1/19	中国 工業生産(12月)
1/19	中国 小売売上高(12月)
1/19	中国 固定資産投資(1-12月)
1/20	中国 最優遇貸出金利(LPR)
1/21	米国 10-12月期決算発表(ネットフリックス)
1/21	日本 訪日外客数(12月)
1/22	日本 貿易統計(12月)
1/22	米国 個人消費支出デフレーター(10月、11月)
1/23	日本 全国消費者物価指数(12月)
1/23	日本 通常国会召集
1/23	日本 全国百貨店売上高(12月)
1/23	日本 日銀金融政策決定会合の結果発表
1/23	欧州 ユーロ圏総合PMI(購買担当者指数)(1月)
1/23	米国 製造業PMI(1月)

日付	イベント
1/26	米国 耐久財受注額(11月)(12/24分)
1/27	米国 消費者信頼感指数(1月、米コンファレンス・ボード調べ)
1/28	米国 FOMC(米連邦公開市場委員会)結果発表
1/29	米国 貿易収支(11月)(1/8分)
1/30	日本 東京都区部消費者物価指数(1月)
1/30	日本 鉱工業生産指数(12月)
1/30	日本 失業率(12月)
1/31	中国 製造業PMI(1月、政府発表分)

(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

#### 【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。